

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく
臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究

研究分担者 弦間昭彦・日本医科大学・学長

研究協力者 清家正博・日本医科大学・呼吸器内科学分野・教授

研究要旨（がん臨床データベースに関する本邦の現状と将来体制の在り方）
学会が主導する各臓器別がん登録の現状を検討し、各臓器により多様な問題点
があることが指摘された。また、**臓器別データベースと全国がん登録の連携**
について、**1 全国がん登録における予後データなど詳細データ利用上の課題、**
2 専門家的詳細データが収集された臓器別がん登録の効率化の意義、3 個人
情報の扱い4 資金の確保、などの問題点、ひいては、将来の望まれる体制
が浮かび上がった。肺癌領域における産学共同の新たな試みが開始された。

A．研究目的

がん臨床データベースに関する本邦の現状
を分析し、将来の在るべき体制を検討する

B．研究方法

各臓器癌の治療医よりなる日本癌治療学会
のがん登録データベース委員会と協働し、各
学会が主導する臓器別がん登録の現状と問題
点を臓器横断的に把握する。

全国がん登録と臓器別がん登録の連携の意
義と問題点を検討する。

また、産学共同について新たな試みを分析
する。

（倫理面への配慮）

基本的にはない。

C．研究結果

各学会が主導する臓器別がん登録の現状と
問題点について以下の通りである。まず、NCD
システム利用状況であるが、NCD 実装済臓器
がん登録（乳癌（日本乳癌学会）、肝癌（日
本肝癌研究会）、膵癌（日本膵臓学会））、
実装に向けた検討登録（胃癌（日本胃癌学会））、
泌尿器癌（日本泌尿器学会）、肺癌（日本肺
癌学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器学
会、日本呼吸器内視鏡学会）となっている。
肝癌については、NCD 移行後、2 度（第 21 回・
22 回）の調査終了し、施設数と症例数は維
持され、FollowUp 率は初年度 90%以上であ
った。肺癌領域では、「免疫チェックポイント
阻害療法を受けた非小細胞肺癌患者の登録
事業と観察研究」を新たにスタートし、NCD
を利用する。大腸癌に関しては NCD を活用せ
ず、学会独自に対応している。問題点は悉皆
性が低いということで、6～7%である。泌尿

器は NCD を使って登録をはじめているが、手
術症例だけを登録して専門医制度とリンク
させるということからスタートしている。ま
た、**臓器別データベースと全国がん登録の連
携について、全国がん登録における予後デ
ータなど詳細データ利用上の課題、専門家的詳
細データが収集された臓器別がん登録と予
後データ連結の有用性、個人情報の扱いの問
題、資金の確保などの問題点が浮かび上が
った。**

D．考察

学会が主導する各臓器別がん登録の現状を
検討し、各臓器により多様な問題点がある
ことが指摘されたが、特に、**専門家的詳細デ
ータが収集された臓器別がん登録と全国がん登
録の予後データの連結の有用性が議論され、
その連携での問題点が議論された。**

E．結論

**専門家的詳細データが収集された臓器別がん
登録と全国がん登録の予後データの連結に向
けた検討が重要である。**

F．健康危険情報

特になし

G．研究発表

1. 論文発表

1 Sugano T, Seike M, Saito Y, Kashiwada T,
Terasaki Y, Takano N, Hisakane K, Takahashi
S, Tanaka T, Takeuchi S, Miyanaga A,
Minegishi Y, Noro R, Kubota K, Gemma A.

Immune checkpoint inhibitor-associated interstitial lung diseases correlate with better prognosis in patients with advanced non-small-cell lung cancer. Thorac Cancer. 2020; [Epub ahead of print]

2 Ueno N, Banno S, Endo Y, Tamura M, Sugaya K, Hashigaki S, Ohki E, Yoshimura A, Gemma A. Treatment status and safety of crizotinib in 2028 Japanese patients with ALK-positive NSCLC in clinical settings. Jpn J Clin Oncol. 2019; 49(7):676-686.

3 Tamura K, Nukiwa T, Gemma A, Yamamoto N, Mizushima M, Ochai K, Ikeda R, Azuma H, Nakanishi Y. Real-world treatment of over 1600 Japanese patients with EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer with daily afatinib. Int J Clin Oncol. 2019; 24(8): 917-926.

4 Masuda N, Ohe Y, Gemma A, Kusumoto M, Yamada I, Ishii T, Yamamoto N. Safety and effectiveness of alectinib in a real-world surveillance study in patients with ALK-positive non-small-cell lung cancer in Japan. Cancer Sci. 2019; 110(4):1401-1407.

5 Gemma A, Kusumoto M, Kurihara Y, Masuda N, Banno S, Endo Y, Houzawa H, Ueno N, Ohki E, Yoshimura A. Interstitial Lung Disease Onset and Its Risk Factors in Japanese Patients With ALK-Positive NSCLC After Treatment With Crizotinib. J Thorac Oncol. 2019; 14(4):672-682.

2. 学会発表
無し

H . 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む)
無し

1. 特許取得
無し

2. 実用新案登録
無し

3.その他
無し